

5 提案の概要

戸田公園

指定管理者：公益財団法人埼玉県公園緑地協会

(1) 基本方針

地域とともに育み、地域のシンボルとなる戸田公園へ

1. 地域の象徴的拠点（シンボル）としての価値や機能の向上
2. 高度な競技機能の維持とローイング文化発展のための取組
3. 誰もが安全・安心・快適に愛着を持って親しめる公園運営

(2) 管理執行体制

各業務に求められる専門性・資格・経験を精査し、的確な人員を配置

- ・常勤職員 4 名＋非常勤職員等 4 名

(3) 維持管理業務計画

- ・安心・安全な公園利用を支える取組
- ・事故・災害への対応体制の強化
- ・施設の修繕・長寿命化への取組

(4) 広報の取組

- ・地域とつながる広報
- ・親しみやすく、継続性のある情報発信
- ・自走できる広報体制の構築
- ・安心感と信頼感の醸成

(5) 利用者サービス事業計画

- ・来園者・利用者サービスの向上（こどもの居場所づくり事業、ボートのまちコンソーシアムとの連携、練習・競技の基盤となる漕艇場をベストコンディションで支える管理など）
- ・公園のにぎわい創出等に関する取組（地域と一体となった公園まつりや花壇づくり、ボート・カヌー体験教室やエルゴマシン体験、学習支援プログラム、収益性を高める自主事業の提案など）

(6) SDGs に配慮した運営

- ・地域との持続的な連携・協働の取組（ボランティア活動団体との持続的な連携、地域との連携・協働の取組など）
- ・環境負荷低減への配慮（環境負荷低減に配慮した物品の購入、施設の管理運営における環境負荷低減への配慮など）

(7) 公園の特性を活かした運営

- ・こどもの居場所づくり事業（戸田市や戸田市社会福祉協議会との連携、「こどもの居場所ネットワーク」に参加する地域団体等と共催で多様な事業の展開など）

- ・利用者目線に立った公園の管理・運営（キッチン設備等の整備など）
- ・ローイング競技関係者と連携した漕艇場の活用促進と、ローイング文化の継承（戸田ローイングハウス（仮称）」を起点とした交流事業など）
- （8）個人に関する情報の取扱いについての基本方針
- ・プライバシーマーク取得・更新による適正な運用
- ・職員研修やメールソフト導入による対応の徹底
- （9）事故や事件の発生を未然に防止するための予防策
- ・巡回・点検体制の強化、ヒヤリ・ハットと利用者情報の収集
- ・危険行為・不審者等への即時対応、職員研修と体制全体の継続的改善など
- （10）災害時等緊急事態における危機管理に対する具体的対策
- ・危機管理マニュアルに基づく安全の確保、業務継続計画（BCP）の策定
- ・協会本部や他公園などネットワークを活かした応援体制の確保
- ・漕艇場管理に対する備えなど